

令和元年度

たがいにひびき合う学校

～学び合う・認め合う・生かし合う～

学校運営協議会だより

横浜市立富士見台小学校
学校運営協議会 事務局 発行 第4号
令和2年2月28日



1年間、ありがとうございました。

令和2年2月14日（金）17時00分より、本校会議室にて第4回富士見台小学校学校運営協議会が開催されました。

第4回の学校運営協議会では、本年度の学校運営についての報告をもとに、来年度の学校運営についての意見が交わされました。

今回は、運営委員の方が今年度を振り返り、来年度に向けた取組についてお話しくださいましたので、抜粋とはなりますがご紹介いたします。

◎第4回の様子

～協議委員の方のご意見・ご感想～

- ・運営協議会に関わって長い時間が経過すると、課題が見えにくくなってしまいうこともあります。だから、様々な立場や役割の方が参加して、様々な視点で意見を言うべきだと感じています。富士見台小学校の**学校運営協議会**は、このような変化に寛容だと感じていました、ここ近年、職員の参加人数が増えてきたことも変化の一つだと思います。富士見台小学校に携わる様々な方が新しいことに取り組もうとしているところに、エネルギーの大きさを感じています。「つなげる」「広げる」という言葉を大切に、これからも関わっていきたいと思います。
- ・**学援隊活動**では、それぞれの担当地域だけではなく、地域や警察と情報交換をして、臨機応変に活動してくださっています。子どもたちに関わる方と子どもたち自身で安全を守る意識を高めていきたいです。
- ・**読み聞かせボランティア**では、初めは自信が無さそうな様子も見られましたが、横のつながりができたり、協力体制ができたりし徐々に自信がもてたようです。コミュニティができて、ボランティアの数も増えました。
- ・**学校図書館ボランティア**では、卒業生保護者に協力して頂き、本の整理や補修を行っています。そのおかげで富士見台小学校の図書館はとてもきれいな状態が保たれていますが、一時よりもボランティア参加者が減ってしまっています。いつまで同じように活動が続けられるかについては、考えていかなければならないと思っています。



子どもたちに安全を呼びかける学援隊の方

- ・ニュースで子どもたちに関する悲しい事件や事故を聞くたびに、自分の地域の子どもたちのことを思っています。**3区にまたがっている学区**ですが、垣根なく連携できたらよいと考えています。
- ・最近では、卒業生が**キッズクラブ**に戻ってきてサポートをしてくれています。それが、自分たちの取組の自信や励みになっています。子どもたちへ必要なサポートを行いながら、自分の力で作り上げられるような企画を続けていきたいと考えています。

- ・**富士見台ウォーカー**では、基本的に保護者ができるところは頑張ってもらいて、学校に接してほしいと考えています。保護者の中には様々な考え方の方がいらっしゃり、なかなか自分たちの考え方を理解していただくのは難しいですが形だけではなく「思い」をのせて伝えていきたいと考えています。



フェスティバルの受付でアンケートを集める保護者と富士見台ウォーカーの方たち

- ・保護者の方には、学校に対してそれぞれの思いがあると思いますが、そこをフォローできるような**P T A**であり続けてほしいと思っています。「先生が助けてと言ったら、本気で助けに行く。」とおっしゃる保護者の方もいらっしゃいますし、教職員の皆さんも、地域の行事に参加してくださっています。お互いの信頼関係が作られていると感じています。



ベルマーク活動で購入した熱中症対策のための大型扇風機

- ・学校評価アンケートの数値に、富士見台小学校がとてもよい学校だということが表れています。ぜひ、自信をもってやっていってください。**青少年指導員**としては、子どもたちのあいさつには課題があると思っています。チャレンジしていきたいと考えています。

- ・子どもたちの安心は、**家庭、地域、学校の3つが連携**してこそ成り立っていると実感しております。委員の方のご意見や学校評価を踏まえて、次年度の取組を考えていきたいと考えております。

委員の皆さま、1年間本当にありがとうございました。今後もよりよい学校運営のため、ご協力をお願いいたします。